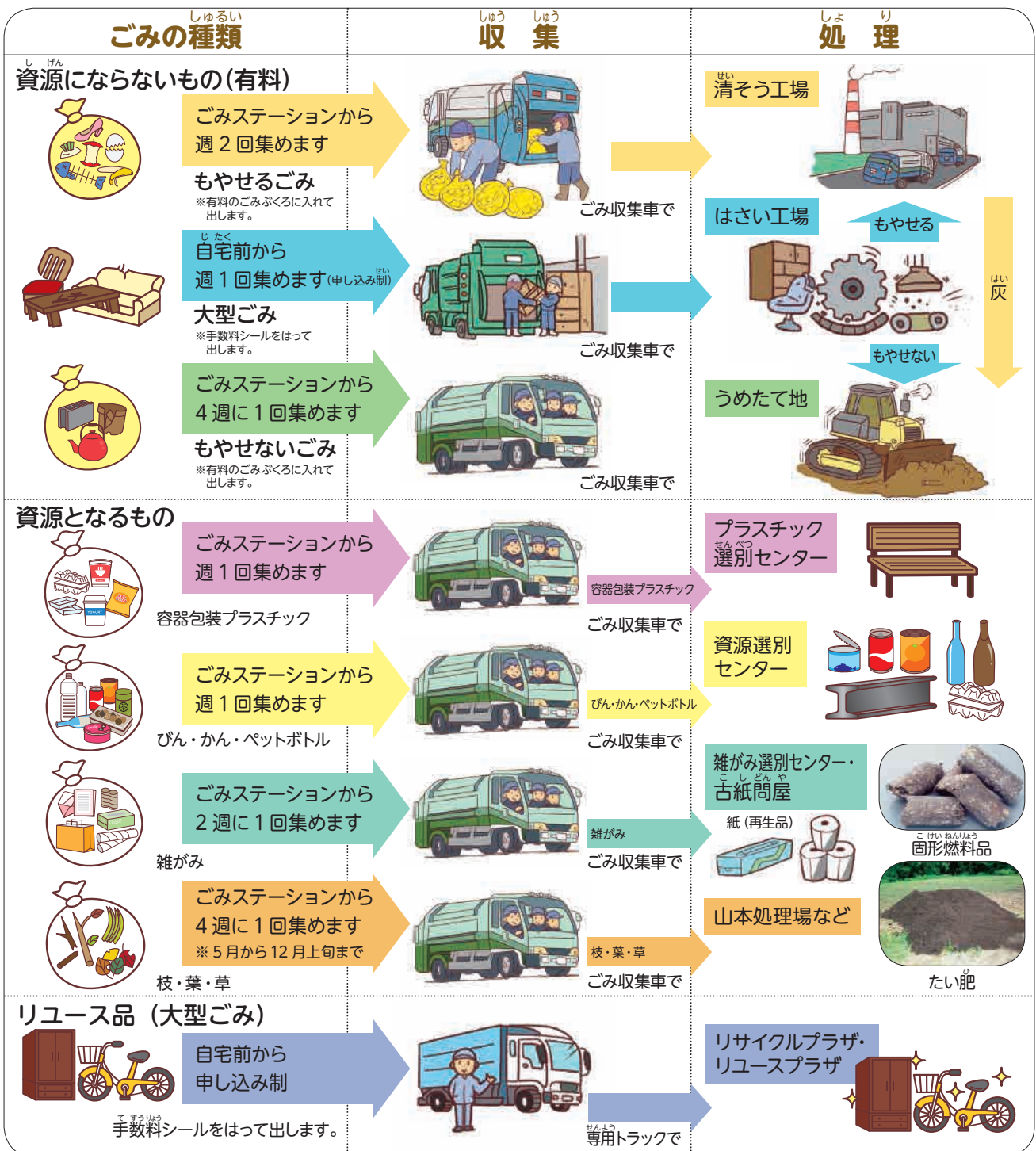


(3) ごみのゆくえ

① 集められたごみはどこへ行くのかな？

有料の「もやせるごみ」は、毎週2回集めています。「もやせないごみ」は4週に1回。無料の「びん・かん・ペットボトル」、「容器包装プラスチック」は、毎週1回集めています。「雑がみ」は、2週に1回。「枝・葉・草」は、4週に1回（5月から12月上旬まで）。大型ごみは、有料で、電話やインターネットで申込みをもらい、集めに行きます。



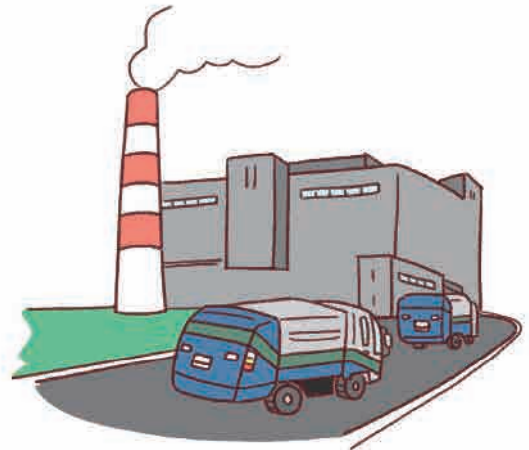
※加熱式たばこ・電子たばことライターは、中身の見えるふくろに入れて、もやせないごみの日に集めます。
 ※スプレーかん、カセットボンベは、中身を使い切り、あなをあけずに、中身の見えるふくろに入れて、もやせるごみの日に集めます。
 ※筒型乾電池は中身の見えるふくろに入れて、びん・缶・ペットボトルの日に集めます。

② 清そうのしせつではどんな仕事をしているのかな？

ごみを処理するために、札幌市では、いろいろなしせつでたくさんの人が働いています。



ごみ処理の計画などを立てる市役所



ごみをもやす清そう工場

- 発寒清そう工場 (西区)
- 駒岡清そう工場 (南区)
- 白石清そう工場 (白石区)



ごみを収集する清そう事む所

- 中央清そう事む所 (中央区)
- 北 清そう事む所 (北区)
- 東 清そう事む所 (東区)
- 白石清そう事む所 (白石区、厚別区)
- 豊平・南清そう事む所 (豊平区、清田区、南区)
- 西 清そう事む所 (西区、手稲区)



ごみをうめるうめたて地

- 山口処理場 (手稲区)
- 山本処理場 (厚別区)



リサイクルするためのしせつ

- プラスチック選別センター (東区)
- 雑がみ選別センター (東区)
- 資源選別センター (東区・南区)

③ごみを収集する人たちの仕事を見てみよう!

ごみを収集するために、午前8時30分より少し前に収集車に乗り、清そう事む所を出発します。

ごみステーションで、ごみを収集車に積み、いっぱいになると、清そう工場や資源選別センター、うめたて地に運びます。

前の日からごみを出すとカラスやネコがふくろをやぶいて散らかし、ごみ収集のときそうじしなければなりません。冬は、ごみぶくろが雪にうまってしまい、雪の中から取り出さなくてはならず、大変です。



前の日に
出しちゃ
ダメなんだね。

冬はみんなで
ごみステーションの
除雪をしてから
出しましょう。



清そう事む所しょく員が町内会の人と相談しています。

清そう事む所は、市内に6か所あって収集車の基地になっています。

ここでは、ごみを集めるための計画をつくったり、ごみについて町内会の人と相談したりする仕事もしています。



④ たくさんのごみステーションをどうやって回っているの？

ごみの収集車は2種類。1日に約230台が作業しています。

ごみの収集車は、清そう事む所を出発してから決められたごみステーションを順番に回って、ごみを集めます。

パッカー車



もやせるごみ、びん・かん・ペットボトル、雑がみを集めます。

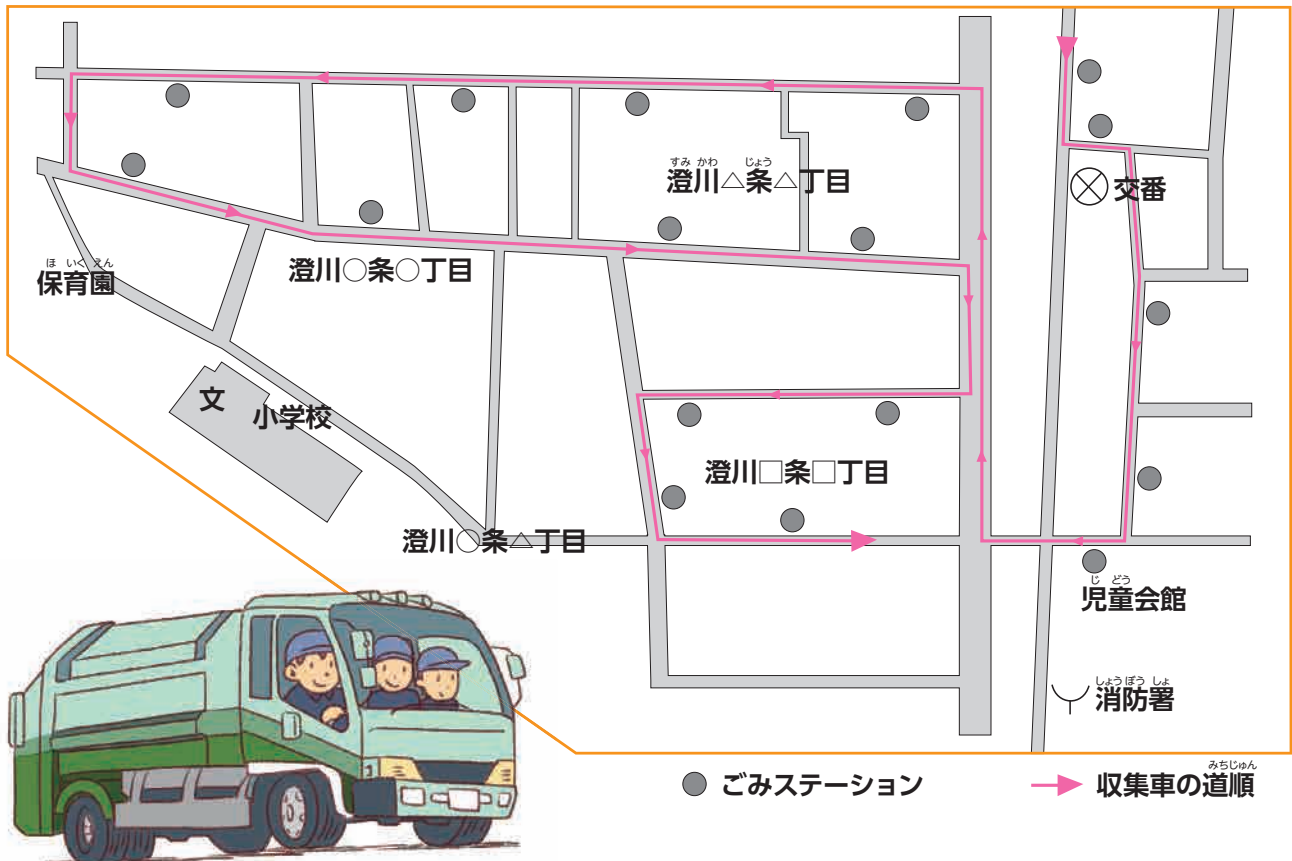
プレスパッカー車



もやせるごみ、もやせないごみ、容器包装プラスチック、枝・葉・草、大型ごみを集めます。かたいものもつぶしてしまします。

収集車の作業

ごみステーションを回る順番（できるだけ早く回れるように工夫しています。）



⑤ ^{しゅうしゅう}ごみ収集車はどこに行くのかな？

収集車は、約50～100か所のごみステーションを回るとごみがいっぱいになるので、^{せい}清そう工場やリサイクルせつ、うめたて地にごみを運びます。これを1日に2～5回、くりかえしています。

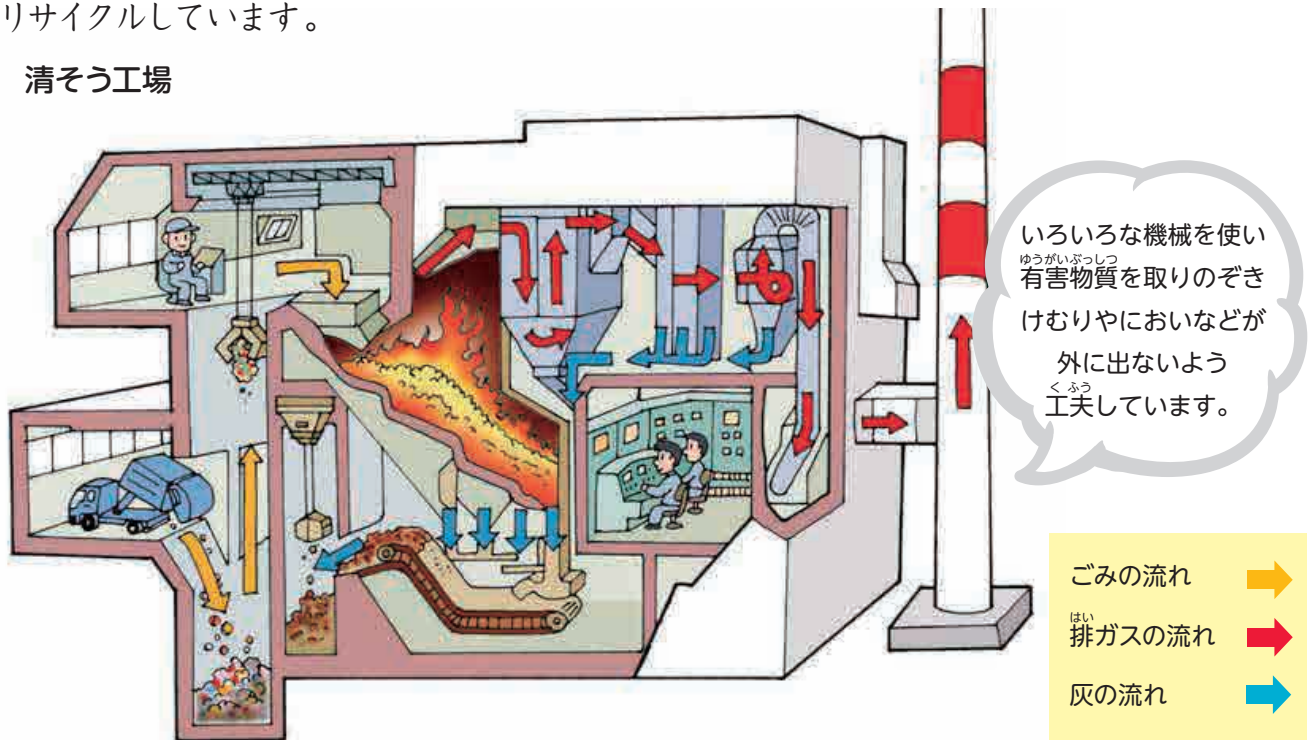


⑥ 清そう工場ではどのようにごみを処理しているのかな？

札幌市にはげんざい三つの清そう工場があり、いろいろな機械やコンピューターを使って、昼も夜もごみをもやし続けています。

ごみをもやすと、灰になって大きさが小さくなり軽くなります。また、もやすことで、えい生的に処理することができます。灰は、うめたて地で処理するほか、一部はセメント原料としてリサイクルしています。

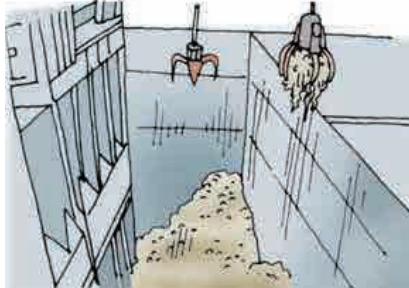
清そう工場



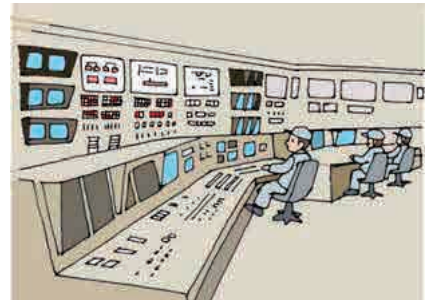
計量所



ごみピットとごみクレーン



中央せいぎょ室



はさい工場 (発寒・駒岡・篠路)



ごみをもやすと…

